

企画展

私がここで 暮らしていくための 科学

「黒い壁」の正体

東日本大震災が起きたときは
どんな揺れだったの？

いつどこで巨大地震が
起こるか予測できないの？

東日本大震災は
なぜ「想定外」だったの？

津波はどんなふうに見えたの？

将来の災害に備えるためには
何が必要？

最初の津波警報はいつ出るの？

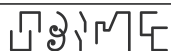
東北では、しばらく大きな津波は
来ないと思って大丈夫？

2022年 11/15 [火] ▶ 2023年 3/14 [火]

10:00 ~ 17:00 入館無料

せんだい3・11メモリアル交流館 2階展示室

休館日／毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（土・日・祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月4日）



主催／せんだい3.11メモリアル交流館 協力／東北大学災害科学国際研究所 監修／佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）

日本列島は、4枚のプレートの上に位置しています。プレートの境界周辺は、地震が起こりやすく、全世界で起こるマグニチュード6以上の地震のうち、約2割が日本で発生するといわれています。また、地震だけでなく火山も多く、四方を海に囲まれてもいます。自然の恵みとともに、災害もまた身近に存在しているのがこの場所です。

東日本大震災が起きたとき、津波を目にした方々は、津波を「黒い壁のようだった」と表現しています。なぜ、津波は「黒い壁」のように見えたのでしょうか。いつか再び来襲してくる津波も、「黒い壁」なのでしょうか。それを考えるためには、科学を通して津波の普遍的なしくみや性質を知っておく必要があります。

この企画展では、地震・津波といった自然現象や、それが引き起こす災害に対する疑問に、「地震」・「津波」・「予測」・「警報」・「科学」・「伝承」という6つのテーマを設け、科学的な視点から回答しています。

科学も万能ではありません。東日本大震災で初めてわかったことも、いまだわからないことも数多くあります。しかし、科学は過去の災害を教訓に、アップデートを続けています。一方、私たちが災害に対処できるようになるためにも、災害のことを知り、その知識をもとに変わり続けることが大切です。

本展が、来館された一人一人の方にとって、将来の災害に対する「備え」になりましたら幸いです。

● 関連企画のご案内 ●

知っておきたいサバイバル術 ～火おこし体験と空き缶ごはん～

災害時には、アウトドアの知識や経験が役に立ちます。火おこし体験の後、空き缶を使ってごはんを炊き、冬のサバイバルランチを楽しみましょう。

日時	2023年2月18日(土) 10時00分～13時00分
定員	15名 [先着順]
集合	荒浜のめぐみキッチン・イベントスペース(仙台市若林区荒浜) ※場所の詳細は、参加申込後にお伝えいたします
参加費	300円/人

協力/荒浜のめぐみキッチン

「津波避難ビル」探検ツアー

仙台市沿岸部に13か所ある「津波避難ビル」「津波避難タワー」。いつ、どんなときに、どうやって入ればいいの? そして、どんな備えがあるの? 交流館より市営バスで移動し、解説つきで実際の施設内を探検します。

日時	2023年3月5日(日) 9時15分～11時30分
定員	15名 [先着順]
集合	せんだい3.11メモリアル交流館
参加費	無料(※別途、往復の市営バス代がかかります)

協力/三本塚町内会

要申込み 申込み開始日: 2月7日[火] 10:00～

申込み先 Tel:022-390-9022
E-mail:office@sendai311-memorial.jp

※Eメールでお申込みの場合、本文に参加される方の氏名、連絡先(電話番号)、イベント名をお書きください。

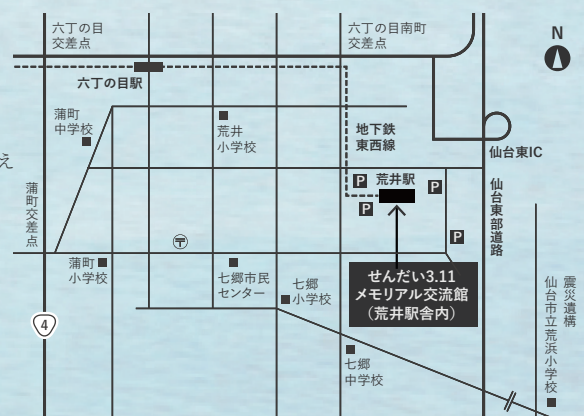
※十分な感染症対策を講じた上で実施します。参加される際は、マスクの着用とアルコール消毒、検温へのご協力をお願いいたします。

お問合せ

せんだい3.11メモリアル交流館 Sendai 3/11 Memorial Community Center
〒984-0032 仙台市若林区荒井字杵形85-4(地下鉄東西線荒井駅舎内)
[TEL] 022-390-9022 [E-mail] office@sendai311-memorial.jp
[Web] https://sendai311-memorial.jp/

アクセス

◎ 仙台空港から...仙台空港アクセス線仙台行きで25分、仙台駅で地下鉄東西線に乗り換え
◎ 仙台駅から...地下鉄東西線荒井駅行きで13分
※ お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
※ バイク・自転車でお越しの方は、荒井駅駐輪場(有料)をご利用ください。



企画協力・空間設計/小山田陽 (H.simple Design Studio)
グラフィックデザイン/鈴木圭介 (ミライトス)
映像・文章協力/門傳一彦 (Lidea)
制作/スリーエイト